

2026年7月21日（火）

老球の細道932号

今日は57回目の「出発の日」記念日

会津バスケットボール協会 室井 富 仁

今から57年前の1969年（昭和44年）7月21日午前11時56分（日本時間）、アメリカの宇宙船「アポロ11号」の月着陸船「イーグル」から船長のニール・アームストロングが月面に降り立ち、月への第一歩を踏み出した。人類が初めて地球以外の天体に足跡を記した、決定的な瞬間だった。

この時アームストロング船長が発した「一人の人間にとっては小さな一歩だが、人類にとっては大きな飛躍だ」という言葉は世界中に発信され、世界中の人々に感動を与えた。当時の日本でもテレビ放映され、700万人の人がこの場面に見入ったという。その一人の私も当時高校1年生で、夏休みに入り会津総合体育大会が行われていた日で、試合が終わり家に帰ってからテレビのニュースで見た。その驚きと感動は今でも鮮明に覚えている。

私は高校に入学してバスケット部に入部したが、同期の1年生は全会津中学のトッププレイヤーばかりで、ユニフォームはもらえないどころか、練習についていくのもやっとの状態でやる気を失くしていた。この時の会津総合体育大会も3年生が引退して、多くの1年生がユニフォームを着てベンチ入りした（2年生より1年生のほうが格段に実力があつた）。

大会中は試合で活躍している同級生を横目で見ながら、私はもっぱら裏方仕事に勤しんでいた。ヤカン（当時のポット）に水をくんだり、タオルを整理したり。試合を終え家に帰って見たニュースがアポロ11号の月面着陸であった。こんな凄いことを成し遂げた人間がいるのに、私はバスケットにおいても何も活躍できない、なんてちっぽけな存在なんだと自分が情けなくなった。なんとかしなければ。もっと努力しよう。そしてこの日から私の人生は変わった。この7月21日を、私の人生記念日において人生の「出発の日」と命名した。

勉強もできない、バスケットも下手くそののでは高校3年間自信を持って生きることではできない。せめてバスケットだけでも人並みになろう。自分を変えうるために高校1年生の夏休みから心がけたことはたった三つのこと。練習を休まない、誰よりも早くコートに行き、誰よりも遅くコートから出る。この三つのことを愚直に実行したおかげで、個人練習でのシュート練習、ウエイトトレーニング、そして1：1の実践練習の練習量が豊富になった。その結果、自分でも信じられないくらい力がついた。57年前の「7月21日」がなかったら今の私はない。花咲かせ爺さん、小太り爺さんになり、山に芝刈りに行っていたか。

今さらながら思う。私にとってバスケットボールとは何か。何を教えてくれたのか。

「馬（バ）」・・・馬鹿みたく愚直に努力すること。最高の素質は「努力することができる」。

「好（ス）」・・・好きこそものの上手なれ。好きなことを強みにして人生で勝負する。

「謙（ケ）」・・・上には上がある。うぬぼれるな。謙虚な態度と大きな夢。目指すは超一流。

「強（ツ）」・・・日々の鍛錬で培った強い心と身体と頭で人生のハードルを乗り越える。

「友（ト）」・・・ライバルと友情が自分を鍛える。バスケットの絆は一生続く。